

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                  |            |           |
|---------|------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2270300599       |            |           |
| 法人名     | (有)源氏陸運          |            |           |
| 事業所名    | グループホーム源氏庵 天城    |            |           |
| 所在地     | 静岡県伊豆の国市四日町346-2 |            |           |
| 自己評価作成日 | 平成23年10月3日       | 評価結果市町村受理日 | 平成24年4月5日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kai gokouhyou.jp/kai gosip/infomationPublic.do?JGD=2270300599&amp;SCD=320&amp;PCD=22">http://www.kai gokouhyou.jp/kai gosip/infomationPublic.do?JGD=2270300599&amp;SCD=320&amp;PCD=22</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                     |  |  |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 静岡タイム・エージェント   |  |  |
| 所在地   | 静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成23年 11月 9日        |  |  |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

地域に根差したグループホームを目指し、「自然に自分らしく共に生きよう源氏庵」という運営理念の下、地域行事への参加、ボランティア・学生の受け入れを積極的に行うことで入居者、スタッフへの刺激を促している。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

この土地を慈しみ、長年築きあげてきた人間関係を活かして、地域に溶け込んだ経営をしていて、近隣の住民の方々は事業所に野菜を届けてくれたりボランティアでハーモニカやフラダンスの披露を自主的に継続して行なってくれるなど協力的である。事業所は近隣の住民の老後の相談にのったり、近くの老人施設の説明をしたりと相互援助の関係を築いている。また出来る限り、本人や家族の希望にそって看取りを行なっていて、今まで多くの入居者(20名以上)を送っている。職員は看取りを行うことにより生きていることの大切さを知り、その気持ちを介護に生かしている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)            | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |   |                       |   |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |  |
|--------------------|-----|---|---|--|--|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |  |  |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 運営理念をホーム内、パンフレットに掲げ、日ごろからミーティング等で繰り返し確認し、サービス提供に努めている。                    | 事業所の立ち上げ時、全職員で好きな言葉を出しあい作った理念である。月一回の職員会議で、管理者が読み上げ、詳しく事例を踏まえて説明し、日々の引継ぎの時にも職員同士で確認しあっている。                     |  |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 地域行事(出席・出展)学校行事への参加やボランティアの受け入れを通じ相互に協力し合う体制を整えようとしている。                   | 事業所の近くには、小中学校があり、行事には招待を受け、入居者が作った作品を学校で展示してもらい、事業所で福祉体験に応じたりと、交流が行われている。近所の住民は野菜や果物を差し入れてくれたり、多くのボランティアが来ている。 |  |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 毎年、地域の学生の福祉体験実習を受け入れ、認知症、又認知症ケアについての情報を発信している。                            |  |  |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 民生委員、役員を中心にホームでの実体験をしていただくことを通してグループホーム・認知症への理解を求め、またそこから意見を頂けるよう取り組んでいる。 | 運営推進会議はできるだけ多くの参加者を集めようと行事等と組み合わせ定期的に行なっている。事業所は日頃から地域の方々の出入りが多いので、会議でなくても意見を聞く機会があり、出された意見を管理者や職員は話しあっている。    | 会議録では地域の役職や市の職員、家族の内訳がわからない場合もある。また出された意見に対し、事業所の取り組みが見えてこない所もあるので記録の書き方の工夫を期待したい。 |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                  | 運営推進会又は地域ケア会議を軸に相互の協力関係の構築に努めている。また生活保護、緊急支援要請に対して最大限応じるよう努めている。          | 事業所から、市の機関に出向いたり、意見交換を心がけている。相談員の受け入れや地域の連絡会議に参加しているが、意見交換ができていない。   | 市町の合併から日が浅く、行政の担当者も変わり、意見交換が円滑になされていないこともあるので、意思疎通が円滑にできるよう期待したい。                  |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日頃より拘束によって生じる入居者へのデメリットを考察している。また実践の中から疑問が出たことに関し全職員で意見を出し合うよう取り組んでいる。    | 職員は、入社時、研修をしていて、身体拘束の弊害を理解している。施錠は昼間は全解除で、入居者一人ひとりの外出の特徴を把握し、職員の声かけや見守りでできるだけ自由に行動できるように対応している。                |  |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | ホーム内でのミーティングでも情報を提示し、研修等で学んだ職員からのフィードバックをする機会も同じ場で設けるようにしている。             |  |  |

静岡県(グループホーム源氏庵 天城)

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 個々の現状に応じ必要な制度等を照会し、日常生活が滞りなく暮らせる支援をしている。   |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 本契約前に体験利用期間を設けることや、相談に来ることのできる時間を夜間でも可能にすることで利用者又は家族の不安や疑問に対し納得が得られるまで話し合いを行える体制を取っている。  |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 相談・苦情窓口を設け、日頃から利用者又は家族と意見交換のしやすい関係作りを努めている。<br>又、頂いた意見をサービスに反映できるようミーティングにて職員に伝達し検討している。 | 相談、苦情の窓口は家族に伝えている。入居料は毎月家族に現金で支払ってもらうようにし、家族との面会回数を確保している。家族は頻りに事業所に来てくれ、管理者は気楽に話ができる環境を作っていて、家族からでた意見は朝のミーティングで全職員に伝えている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 日頃からコミュニケーションを取り合いで、職員からの意見や提案一緒になって検討し、可能な事柄に関しては具体的な段階に達するまでサポートをするようにしている。            | 入居者の状況や実情は日頃接している職員が一番理解しているので、管理者は職員の意見要望を積極的に聞いていて、入居者の状態について具体的に話し合っている。職員ヒヤリングで管理者は相談しやすく、すぐに回答やアドバイスを貰える関係を築いている。     |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 就業中の個々の様子や実績を含めて把握できるよう心掛け、安心して就業できる環境整備に築くよう努めている。                                      |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員個々の状況に応じ社外研修を受講するよう調整することや、社内において定期や必要な場面で直接指導を行うことで介護技術等のスキルアップを促している。                |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域ケア会議や市が開くに運営会議に参加することで、同業者はもとより地域の介護に携わる方々と運営状況又は情報交換をし、サービスに反映させている。                  |  |                   |

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------------------------------|-----|--|---|--|-------------------|
|                              |     |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |  |                   |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前(2週間～4週間)の体験期間を設け、本人の状況確認をすることで、細かな要望を把握し相互関係を築くように努めている。                            |  |                   |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居申し込み～体験期間を通じ、本人の状態を確認しながら家族の状況や要望を知り相互関係を築くように努めている。                                  |  |                   |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 体験期間を通して、本人・家族の状況や要望を把握し、グループホームのみならず包括的に必要なサービスを検討し照会できるように努めている。                      |  |                   |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 日常生活において本人と職員で共同作業(掃除・洗濯たたみ・台所支度)や散歩をすることで、家族に近い形での関係を築いている。                            |  |                   |
| 19                           |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 家族に対し、正確な情報の提供や、日常生活の中で汲み取ることで本人の要望を伝達し共有することで、共に支えているという意識を持ってもらうよう努めている。              |  |                   |
| 20                           | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 本人の状態に応じ、これまで築いてこられた暮らし(地域行事・老人会活動・冠婚葬祭等)を継続できるよう支援している。                                | 入居者の家族訪問回数が多いので、事業所は情報の把握に積極的である。また家族と行きつけの店へ買物に出かけたり、馴染みの人に会うために外出できるよう支援している。地元の方々が気軽に訪れてくれるよう事業所をオープンにしている。 |                   |
| 21                           |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                  | 日常生活の中での共同作業や散歩を通じて仲間作りを図ることを促している。また一方で、協調の困難な方に関しては他の入居者との間に職員が介入することで未然に衝突の発生を防いでいる。 |  |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |   |
|------------------------------------|------|--|---|--|---|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                   | 退去の準備や本人・家族が、必要なサービス利用に支障がないように相談・支援に努めている。   |  |   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 各場面にて本人の希望や意向を尊重し、可能な限り暮らしに取り入れている。困難な場合はそれまでの本人の趣向や、家族からの情報を鑑みて検討している。                       | センター方式を使い、本人、家族より聞き取り、家族のいない入居者は入居者の日々の様子や会話に気をつけ、入居者に寄り添い思いを把握し、ケアに活かしている。                          |   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 本人・家族・前事業所からの情報収集に努め、本人・家族にとって有益なものを暮らしに反映できるように支援している。                                       |  |   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | バイタルチェックや日常における活動(歩行状態、食事の様子、排泄等)を細かに観察し、把握した情報を職員間で共有するよう努めている。                              |  |   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日頃より収集している情報や抽出された課題に対し、ケアマネージャーを中心に全職員で本人に最適と思われる案を検討し、本人又は家族との意見交換を行うことで、現況に合う介護計画作成に努めている。 | ケアマネージャーが作成した計画に対して、他の職員全員からアイデアや意見を出してもらい、現状に即した介護計画を作成し、家族に話し、同意を得ている。ケアマネージャーが変わり、書式や記入方法は検討中である。 | モニタリングをして、現状に即した介護計画を作成するためにも、日々の実践の記録を残すことは大切なので、早期に書式や記入方法を確立することが望まれる。 |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別の日誌や連絡ノートを活用し、記載された情報を全職員が必ずチェックし共有するようにしている。   |  |   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 稀なケースにおいても本人・家族の状況に応じ話し合いの機会を持ち、可能な限り柔軟にサービス提供ができるよう取り組んでいる。                                  |  |   |

静岡県(グループホーム源氏庵 天城)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |   |
|----|------|--|---|--|---|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容                                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                     | 本人の暮らしがより豊かなものとなるために、ボランティアを招いたり近隣住民との交流を持つことを心掛けている。   |  |   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 主治医と密に連携を図り、日常の変化は定期健診時に報告を行い、緊急時は往診を含めた必要な対応を依頼している。又、医師から家族へのその都度の説明をもらうことで信頼関係を築けるよう努めている。 | 近隣に3名のかかりつけ医がおり、いつでも対応してくれる。職員が連れていった場合の受診内容は医師から家族にも説明されている。協力医は1ヶ月に一度来所し、定期健診を行なっている。                      |   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                         | 看護師と介護職員が情報を共有し、看護師からの指示を基に受診を支援している。   |  |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 利用者が入院をする際には必要な情報を提供し適切な医療を受けられるよう協力し、又退院の際にはその後の暮らしが円滑に送れるよう情報・指示を頂けるように努めている。               |  |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 日頃より本人の意向を汲み取り、暮らしに反映できるよう支援している。又、家族とも情報を共有し、今後起こり得る可能性を医師も含めて検討することで、その後の方針を決めていけるよう支援している。 | 入居時に本人、家族に説明している。終末期が近づくと医師が診察し、家族に今後の看取りの方針について説明し同意をもらっている。家族、医師、看護師、職員は連携しケアにあたっていて、開設以来20名以上の入居者を看取っている。 |   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 緊急時の初期対応として、応急処置や通報手順等を確認し、実践に備えている。  |  |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 年に2度の防災訓練時に、消防署への通報、避難誘導、消火訓練等を行っている。又、運営推進会議においても、各役員の方と有事の際を想定した話し合いを行っている。                 | 事業所は3日分の食料、水が確保され、ソーラーシステムが設置されている。夜間想定訓練も定期的に行われ、消防署との連携もされている。   | どのような災害にも対応できるように、専門家や地域住民との合同開催の訓練を定期的に行うことを期待したい。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |   |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 一人ひとりの性格や生活歴を考慮した上で、人生の先輩として、家族として、個人としての配慮を欠くことがないよう対応するよう努めている。 | 職員は入居者が混乱しないようにゆったりとさりげない言葉かけ、誘導を行なっている。また、時には入居者の横に座って話を聞き、入居者が納得して行動を起こすように心がけている。入居者の表情から「家族のように接する。」という事業所の方針が実践されている様子が伺える。 |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 本人が希望を表すことがし易いような雰囲気作りをし、本人らしい自己決定ができるような対応を心掛けている。               |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 共同生活の中で、その都度の状況に応じて可能な限り意向を反映できるよう支援している。                         |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 季節・気候に応じ、可能な範囲で本人の好みを尊重した本人らしい身だしなみやおしゃれをできるように支援している。            |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 各入居者の嗜好や咀嚼・嚥下機能を把握し、楽しみとなる食事になるよう支援をし、準備や片付けは入居者と職員が協働としている。      | 近隣にはプチ農家が多く、差し入れが多いので季節感のある食卓につながっている。主食の希望にはいつでも対応している。外食や食事の場を外でするなど、楽しみにつなげている。食後の片付けはできるだけ入居者が行えるように言葉かけを行い、配膳台を工夫している。      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 自家米や地元野菜を中心に提供し、各入居者の状態(栄養値、体重、排泄状態等)に応じた栄養・水分摂取量の確保を支援している。      |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 咀嚼・嚥下機能の維持や清潔保持のため、毎食後に入居者の口腔状態に応じたケアを勧めている。                      |  |                   |

静岡県(グループホーム源氏庵 天城)

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|---|---|--|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 入居者個々の排泄時間・排泄状態を記録し、情報を活かしたトイレ誘導を行い、夜間の排泄に対しては、睡眠の妨げにならない範囲で時間帯を見て誘導をしている。              | 職員は入居者一人ひとりの排泄パターンを記録し把握していて、トイレに行きたいという入居者のサインを見逃さないように心がけている。またパットはたくさんの種類を用意していて、入居者の状態に柔軟に対応している。        |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 食事・水分の摂取量の調整や、ラジオ体操、散歩といった運動を取り入れることによって、適切な排泄を促す支援をしている。                               |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴時間帯(13:30~17:00)の中で入居者の状態や希望に応じ、心身の療養と清潔保持のために支援をしている。                                | 入居者は2日に一度は入浴し、ミスト浴や24時間循環浴槽もあるため、希望に合わせて対応が可能である。入浴を拒む入居者には、無理強いをせず、信頼関係を築いて安心して入浴できることを納得してもらい誘導している。       |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 日中においては、入居者個々の状態に応じて、夜間の睡眠の障害にならない程度で睡眠や休息ができるよう支援している。共有スペースにある畳では、誰でも簡単に横になれるようにしている。 |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 医師の指示通り、正しい服薬ができるよう支援し、薬が要因と思われる特異な変化にあつては医師へ相談し状態変化に対応できるよう努めている。                      |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 暮らしの中で、一人ひとりが主体的に行動し、それを職員がサポートする形をとることで、本人の力を発揮できるよう支援している。                            |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 日常的に体力作りや気分転換を兼ねて散歩をし、施設行事での外出以外でも、本人や家族の希望があれば買い物・地域行事への参加支援をしている。                     | 毎日、体操をして散歩するのが慣例になっていて、地域の名物にもなっている。そのため近所の人々が声かけをしてくれる。買い物も頻繁にしている。すぐ近くに学校があり、交流もある。家族が買い物や法事、旅行に連れて行く例もある。 |                   |



静岡県(グループホーム源氏庵 天城)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 金銭所持に関しては、本人や家族の希望に応じ誤飲等の危険がないことを確認した後、支援をすることになっている。   |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 本人や家族の希望により、電話や手紙を自由に交換できるよう見守り、支援している。   |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有スペースは毎朝入居者と職員で掃除を欠かさず行い、清潔で心地よく暮らせる工夫している。できる限り刺激的な音・光・臭いが発しないよう努めている。                                      | 共同空間は毎朝、職員と入居者がそろって掃除をしているので、清潔で、採光もよく、明るい。季節の花や近所から寄付された年代物や昔懐かし物が飾られ、話のきっかけになっている入居者の手作りの作品が飾られ、水道の蛇口やドアベル等は事業所オリジナルのアイデア品が多い。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 共有スペースを広く取り、畳コーナーや体操ができる広さを用意している。又、入居者の制作した作品を掲示し、他者に鑑賞してもらう機会を設けている。時には賑やかに時には人の気配を間近に感じながら安心して過ごせる工夫をしている。 |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 明るさや室温に配慮し、入居者の持ち込んだ品(家具・写真)をできるだけ使うことで、居室にて心地良く過ごせる工夫している。   | 居室は広く、家庭で使用されていた家具類、調度品、ソファ、仏壇などが置かれていて、風通しもよく、掃除も行き届いている。夏は、緑のカーテンが暑さしのぎに役立っていたようで枝が残っていた。                                      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 建物内にて入居者が、自由で自立した暮らしが続けられるよう、案内表示や目印を活用している。又洗面所等に関しても、簡単な操作で使えるような設備になっている。                                  |  |                   |

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                  |            |           |
|---------|------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2270300599       |            |           |
| 法人名     | (有)源氏陸運          |            |           |
| 事業所名    | グループホーム源氏庵 富士    |            |           |
| 所在地     | 静岡県伊豆の国市四日町346-2 |            |           |
| 自己評価作成日 | 平成23年10月3日       | 評価結果市町村受理日 | 平成24年4月5日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <http://www.kai gokouhyou.jp/kai gosip/infomationPublic.do?JCD=2270300599&SCD=320&PCD=22>

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                     |  |  |
|-------|---------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 静岡タイム・エージェント   |  |  |
| 所在地   | 静岡県静岡市葵区神明町52-34 1階 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成23年 11月 9日        |  |  |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

地域に根差したグループホームを目指し、「自然に自分らしく共に生きよう源氏庵」という運営理念の下、地域行事への参加、ボランティア・学生の受け入れを積極的に行うことで入居者、スタッフへの刺激を促している。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|----|---|----|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)<br><input type="radio"/>     | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)<br><input type="radio"/>   |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)<br><input type="radio"/>           | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)<br><input type="radio"/>                     |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)<br><input type="radio"/>                 | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4)<br><input type="radio"/> |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)<br><input type="radio"/>   | 66 | 職員は、生き活きと働いている<br>(参考項目:11,12)<br><input type="radio"/>                                      |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)<br><input type="radio"/>                | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う<br><input type="radio"/>                                       |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)<br><input type="radio"/>       | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う<br><input type="radio"/>                                   |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28)<br><input type="radio"/> |    |  |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------|-----|---|---|------|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |      |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 運営理念をホーム内、パンフレットに掲げ、日ごろからミーティング等で繰り返し確認し、サービス提供に努めている。                    |      |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している                            | 地域行事(出席・出展)学校行事への参加やボランティアの受け入れを通じ相互に協力し合う体制を整えようとしている。                   |      |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 毎年、地域の学生の福祉体験実習を受け入れ、認知症、又認知症ケアについての情報を発信している。                            |      |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 民生委員、役員を中心にホームでの実体験をしていただくことを通してグループホーム・認知症への理解を求め、またそこから意見を頂けるよう取り組んでいる。 |      |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                  | 運営推進会又は地域ケア会議を軸に相互の協力関係の構築に努めている。また生活保護、緊急支援要請に対して最大限応じるよう努めている。          |      |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 日頃より拘束によって生じる入居者へのデメリットを考察している。また実践の中から疑問が出たことに関し全職員で意見を出し合うよう取り組んでいる。    |      |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | ホーム内でのミーティングでも情報を提示し、研修等で学んだ職員からのフィードバックをする機会も同じ場で設けるようにしている。             |      |                   |

静岡県(グループホーム源氏庵 富士)

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|-----|--|--|------|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 個々の現状に応じ必要な制度等を照会し、日常生活が滞りなく暮らせる支援をしている。   |      |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 本契約前に体験利用期間を設けることや、相談に来ることのできる時間を夜間でも可能にすることで利用者又は家族の不安や疑問に対し納得が得られるまで話し合いを行える体制を取っている。  |      |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 相談・苦情窓口を設け、日頃から利用者又は家族と意見交換のしやすい関係作りに努めている。<br>又、頂いた意見をサービスに反映できるようミーティングにて職員に伝達し検討している。 |      |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 日頃からコミュニケーションを取り合いで、職員からの意見や提案一緒になって検討し、可能な事柄に関しては具体的な段階に達するまでサポートをするようにしている。            |      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 就業中の個々の様子や実績を含めて把握できるよう心掛け、安心して就業できる環境整備に築くよう努めている。                                      |      |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員個々の状況に応じ社外研修を受講するよう調整することや、社内において定期や必要な場面で直接指導を行うことで介護技術等のスキルアップを促している。                |      |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域ケア会議や市が開くに運営会議に参加することで、同業者はもとより地域の介護に携わる方々と運営状況又は情報交換をし、サービスに反映させている。                  |      |                   |

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------|-----|--|---|------|-------------------|
|                              |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |      |                   |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前(2週間～4週間)の体験期間を設け、本人の状況確認をすることで、細かな要望を把握し相互関係を築くように努めている。                            |      |                   |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 入居申し込み～体験期間を通じ、本人の状態を確認しながら家族の状況や要望を知り相互関係を築くように努めている。                                  |      |                   |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 体験期間を通して、本人・家族の状況や要望を把握し、グループホームのみならず包括的に必要なサービスを検討し照会できるように努めている。                      |      |                   |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 日常生活において本人と職員で共同作業(掃除・洗濯たたみ・台所支度)や散歩をすることで、家族に近い形での関係を築いている。                            |      |                   |
| 19                           |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 家族に対し、正確な情報の提供や、日常生活の中で汲み取ることでできた本人の要望を伝達し共有することで、共に支えているという意識を持ってもらうよう努めている。           |      |                   |
| 20                           | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 本人の状態に応じ、これまで築いてこられた暮らし(地域行事・老人会活動・冠婚葬祭等)を継続できるよう支援している。                                |      |                   |
| 21                           |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                  | 日常生活の中での共同作業や散歩を通じて仲間作りを図ることを促している。また一方で、協調の困難な方に関しては他の入居者との間に職員が介入することで未然に衝突の発生を防いでいる。 |      |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退去の準備や本人・家族が、必要なサービス利用に支障がないように相談・支援に努めている。   |      |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |      |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 各場面にて本人の希望や意向を尊重し、可能な限り暮らしに取り入れている。困難な場合はそれまでの本人の趣向や、家族からの情報を鑑みて検討している。                       |      |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 本人・家族・前事業所からの情報収集に努め、本人・家族にとって有益なものを暮らしに反映できるように支援している。                                       |      |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | バイタルチェックや日常における活動(歩行状態、食事の様子、排泄等)を細かに観察し、把握した情報を職員間で共有するよう努めている。                              |      |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日頃より収集している情報や抽出された課題に対し、ケアマネージャーを中心に全職員で本人に最適と思われる案を検討し、本人又は家族との意見交換を行うことで、現況に合う介護計画作成に努めている。 |      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別の日誌や連絡ノートを活用し、記載された情報を全職員が必ずチェックし共有するようにしている。   |      |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 稀なケースにおいても本人・家族の状況に応じ話し合いの機会を持ち、可能な限り柔軟にサービス提供ができるよう取り組んでいる。                                  |      |                   |

静岡県(グループホーム源氏庵 富士)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                     | 本人の暮らしがより豊かなものとなるために、ボランティアを招いたり近隣住民との交流を持つことを心掛けている。   |      |                   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 主治医と密に連携を図り、日常の変化は定期健診時に報告を行い、緊急時は往診を含めた必要な対応を依頼している。又、医師から家族へのその都度の説明をもらうことで信頼関係を築けるよう努めている。 |      |                   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                         | 看護師と介護職員が情報を共有し、看護師からの指示を基に受診を支援している。   |      |                   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 利用者が入院をする際には必要な情報を提供し適切な医療が受けられるよう協力し、又退院の際にはその後の暮らしが円滑に送れるよう情報・指示を頂けるように努めている。               |      |                   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 日頃より本人の意向を汲み取り、暮らしに反映できるよう支援している。又、家族とも情報を共有し、今後起こり得る可能性を医師も含めて検討することで、その後の方針を決めていけるよう支援している。 |      |                   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている   | 緊急時の初期対応として、応急処置や通報手順等を確認し、実践に備えている。  |      |                   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている   | 年に2度の防災訓練時に、消防署への通報、避難誘導、消火訓練等を行っている。又、運営推進会議においても、各役員の方と有事の際を想定した話し合いを行っている。                 |      |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |      |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 一人ひとりの性格や生活歴を考慮した上で、人生の先輩として、家族として、個人としての配慮を欠くことがないように対応するよう努めている。 |      |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 本人が希望を表すことがし易いような雰囲気作りをし、本人らしい自己決定ができるような対応を心掛けている。                |      |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 共同生活の中で、その都度の状況に応じて可能な限り意向を反映できるよう支援している。                          |      |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 季節・気候に応じ、可能な範囲で本人の好みを尊重した本人らしい身だしなみやおしゃれをできるように支援している。             |      |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 各入居者の嗜好や咀嚼・嚥下機能を把握し、楽しみとなる食事になるよう支援をし、準備や片付けは入居者と職員が協働としている。       |      |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 自家米や地元野菜を中心に提供し、各入居者の状態(栄養値、体重、排泄状態等)に応じた栄養・水分摂取量の確保を支援している。       |      |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 咀嚼・嚥下機能の維持や清潔保持のため、毎食後に入居者の口腔状態に応じたケアを勧めている。                       |      |                   |



静岡県(グループホーム源氏庵 富士)

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|---|---|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 入居者個々の排泄時間・排泄状態を記録し、情報を活かしたトイレ誘導を行い、夜間の排泄に対しては、睡眠の妨げにならない範囲で時間帯を見て誘導をしている。              |      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 食事・水分の摂取量の調整や、ラジオ体操、散歩といった運動を取り入れることによって、適切な排泄を促す支援をしている。                               |      |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 入浴時間帯(13:30~17:00)の中で入居者の状態や希望に応じ、心身の療養と清潔保持のために支援をしている。                                |      |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 日中においては、入居者個々の状態に応じて、夜間の睡眠の障害にならない程度で睡眠や休息ができるよう支援している。共有スペースにある畳では、誰でも簡単に横になれるようにしている。 |      |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 医師の指示通り、正しい服薬ができるよう支援し、薬が要因と思われる特異な変化にあっては医師へ相談し状態変化に対応できるよう努めている。                      |      |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 暮らしの中で、一人ひとりが主体的に行動し、それを職員がサポートする形をとることで、本人の力を発揮できるよう支援している。                            |      |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 日常的に体力作りや気分転換を兼ねて散歩をし、施設行事での外出以外でも、本人や家族の希望があれば買い物・地域行事への参加支援をしている。                     |      |                   |

静岡県(グループホーム源氏庵 富士)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 金銭所持に関しては、本人や家族の希望に応じ誤飲等の危険がないことを確認した後、支援をすることになっている。   |      |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 本人や家族の希望により、電話や手紙を自由に交換できるよう見守り、支援している。   |      |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有スペースは毎朝入居者と職員で掃除を欠かさず行い、清潔で心地よく暮らせる工夫している。できる限り刺激的な音・光・臭いが発しないよう努めている。                                      |      |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 共有スペースを広く取り、畳コーナーや体操ができる広さを用意している。又、入居者の制作した作品を掲示し、他者に鑑賞してもらう機会を設けている。時には賑やかに時には人の気配を間近に感じながら安心して過ごせる工夫をしている。 |      |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 明るさや室温に配慮し、入居者の持ち込んだ品(家具・写真)をできるだけ使うことで、居室にて心地良く過ごせる工夫している。   |      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 建物内にて入居者が、自由で自立した暮らしが続けられるよう、案内表示や目印を活用している。又洗面所等に関しても、簡単な操作で使えるような設備になっている。                                  |      |                   |